

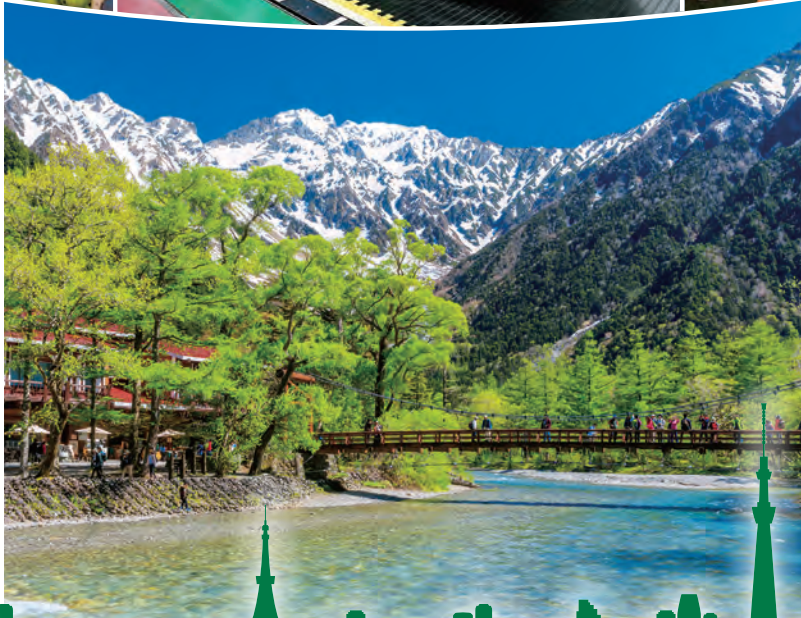
中 社会科 中学生の地理
世界の姿と日本の国土
(地理703)
拡大版 [26P] (全7分冊)①

社会科

中学生の 地理

世界の姿と日本の国土

拡大版 [26P] ①



帝国書院

中学校地理 26ポイント A4版



人口や都市・村落に注目して

第5節の問い
p.235～249

関東地方における人口の集中は、
人々の生活や産業にどのような
えいきょう あた
影響を与えているのだろうか。

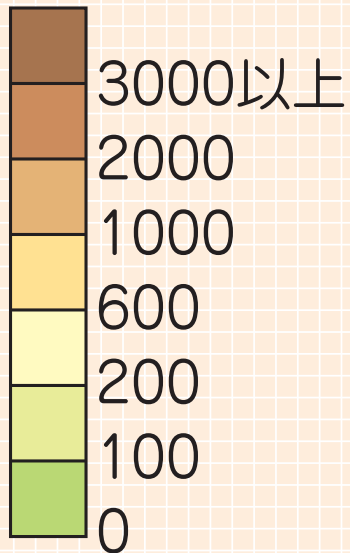
↓ 1 関東地方の自然



→ 238-5 ページ

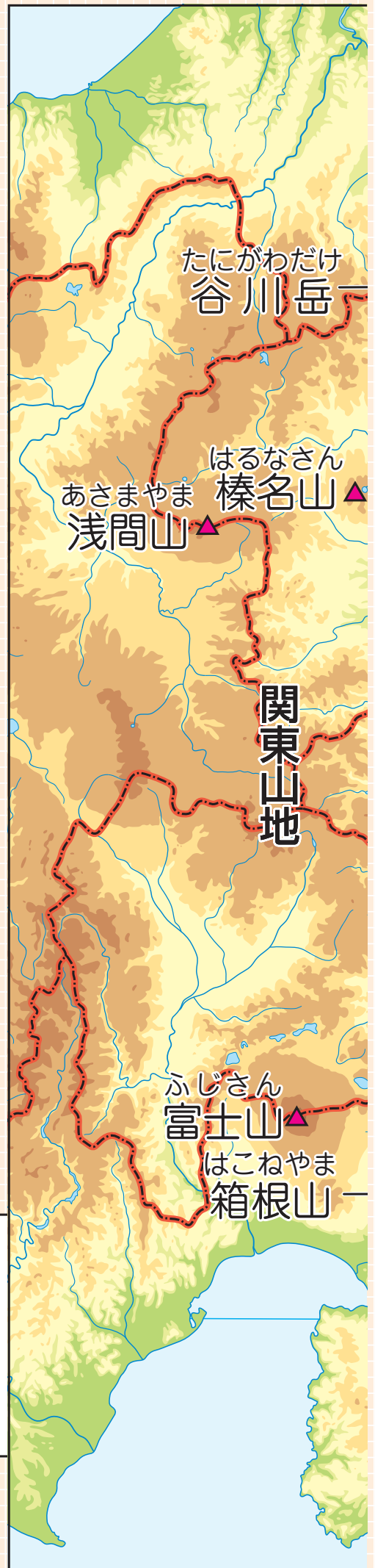
238-2

標高 (m)



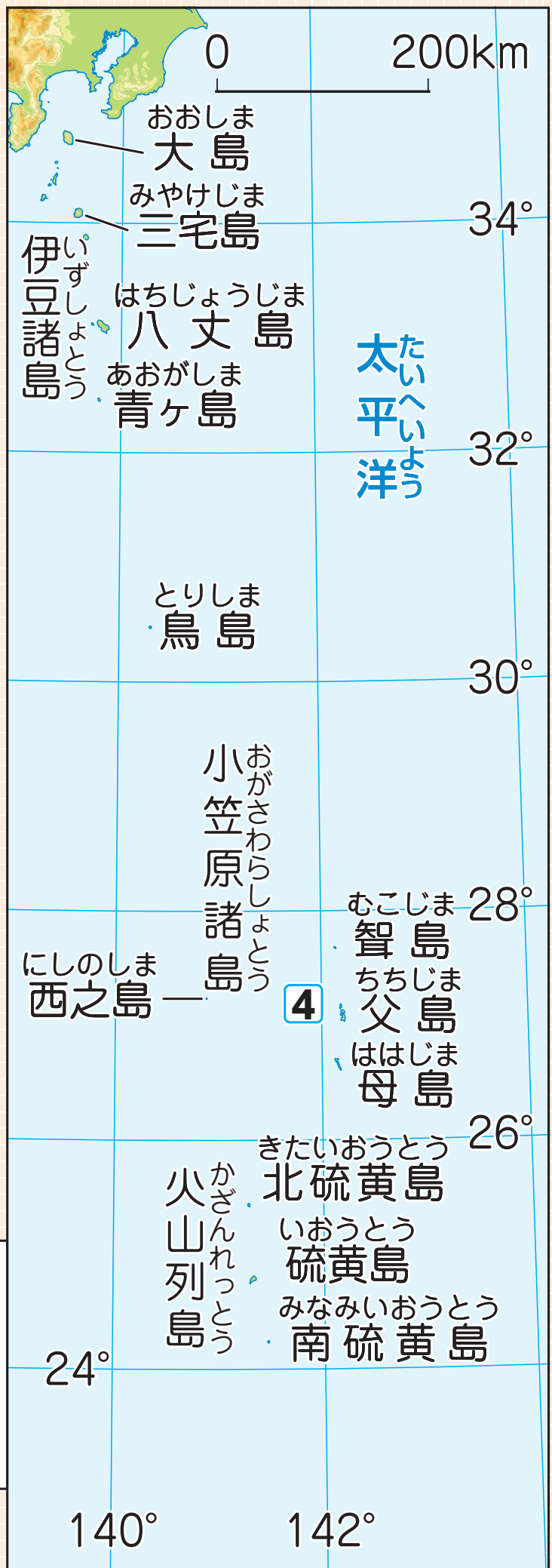
※ 数字は写真番号を示しています。

- 都・県庁所在地
- ◎ 人口30万以上の都市
- ▲ 山頂
- ▲ 火山頂

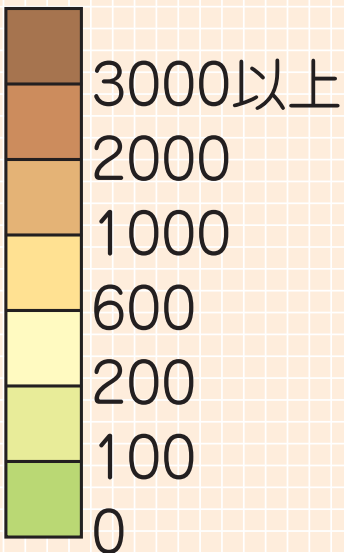


238-3





標高 (m)



※ 数字は写真番号を示しています。

- 都・県庁所在地
- ◎ 人口30万以上の都市
- ▲ 山頂
- ▲ 火山頂

238-5

↓^{じゅうたく}② 住宅地や畑が広がる関東平野（埼玉県，^{ふかや}深谷市，^{さつえい}5月撮影） 関東平野の中央には，日本最大の^{りゅういき}流域面積をもつ^{とねがわ}利根川が流れています。



1 関東地方の 自然環境

学習 課題

関東地方では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。

日本で最も広い 関東平野

関東地方は1都6県からなり、約4000万の人々が暮らす、最も人口の多い地方です。日本最大の平野である関東平野を中心に、西は関東山地、北は越後山脈、阿武隈高地などに囲まれています。関東平野には、箱根山や富士山などの火山灰が堆積してできた赤土（関東ローム）に覆われた台地（⇒ 144-6 ページ）と、利根川や

238-7

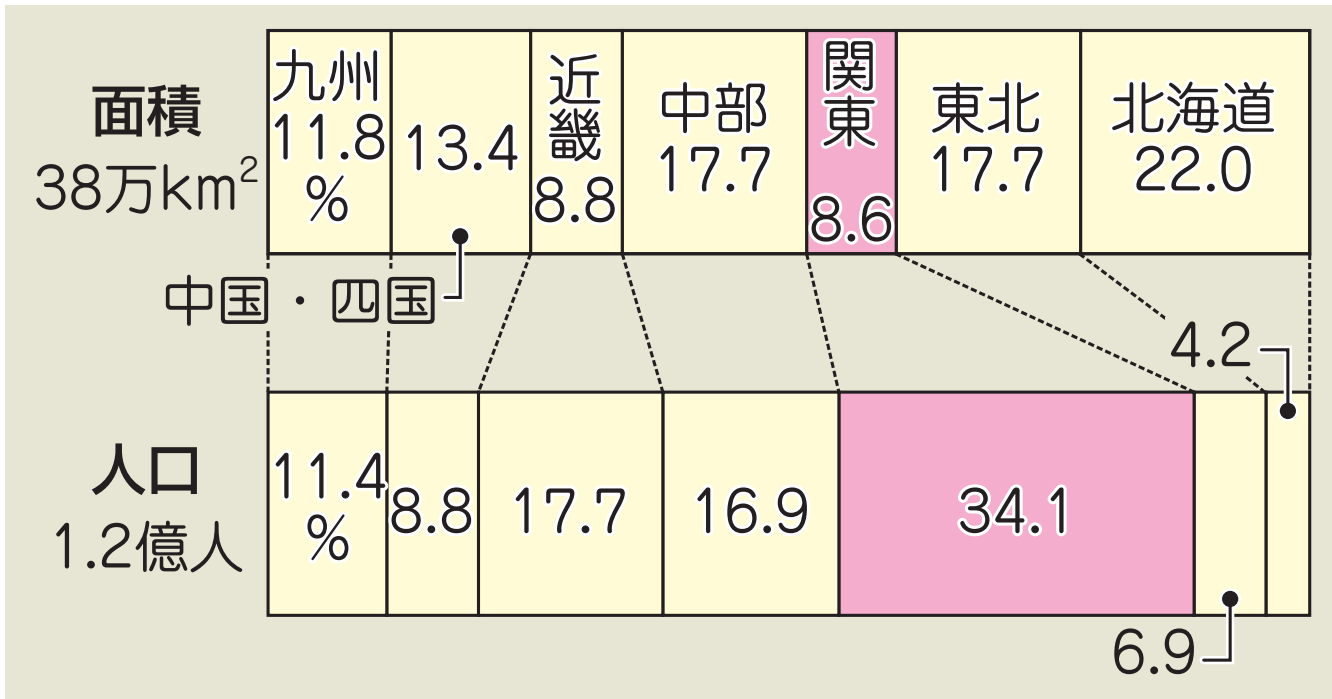
あらかわ たまがわ かせんぞ
荒川，多摩川などの河川沿いにできた低地
が広がっています **2**。

関東平野は，17世紀初めに江戸幕府が開
かれてから開発が進み，人口が増えていきま
した。下総台地などの台地は水が得にくく，
畑作地として開墾されましたが，今日では
住宅地やゴルフ場なども多く見られます。
一方，川沿いの低地は水が得やすいので水
田に利用され，人口が多い都市部では高層
ビルも見られます (➡ **236-2** ページ)。
太平洋に面した海岸線には，九十九里浜の
ような砂浜海岸 (➡ **145-1** ページ) が見
られます。東京湾は海岸線の大部分が埋め
立てられたため，自然のままの海岸線はほ
とんど残っておらず，埋立地は工業用地な
どに利用されています (➡ **161-2** ページ)。

238-8

↓ 3 日本の面積・人口に占める関東地方の割合

(2019年) 〈住民基本台帳人口・世帯数表 平成31年版, ほか〉



小学校 ● 歴史 ● 公民との関連

日本の自然環境 (小), 防災対策 (小)

238-9

内陸と海沿いで

こと

異なる気候

関東地方の大部分は太平洋側の気候（➡
147-7 ページ）ですが、内陸と海沿いで
は気候が異なります。

北関東を中心とする内陸は、夏と冬の
気温差が大きく、^{こうすい}降水量が少ないのが
^{とくちょう}特徴です。特に冬は、北西の^{きせつふう}季節風（➡
51-8, 147-1 ページ）が越後山脈など
にぶつかって雪を降^ふらせたあと、^{かわ}乾いた風
① となって関東平野に吹^ふき降^おりてくる⑤
ため、晴天の日が続きます（➡ 147-5 ペー
ジ）。夏は、埼玉県熊^{くま}谷^{がや}市のように毎年高
温になる町もみられ、山沿いでは^{らいう}雷雨がし
ばしば発生します。

一方、南関東を中心とする海沿いの地域は、^{くろしお}黒潮が近海を流れる（➡ 145-3 ページ）ため、冬でも^{おんだん}温暖なのが特徴です。
^{ぼうそう}房総半島や^{みうら}三浦半島は、冬に観光農園で花摘みが楽しめることでも知られています 6。
東京都に^{ぞく}属する^{いずしょとう}伊豆諸島などの島々は一年中温暖で、特に^{いど}緯度が低い^{おがさわら}小笠原諸島の島々は、南西諸島（➡ 182-3 ページ）と同じような気候です 4。

高層ビルが立ち^{なら}並ぶ東京の中心部では、気温が周辺地域よりも高くなるヒートアイランド^{げんしょう}現象がみられます。また近年は、短時間のうちに大雨をもたらす局地的大雨（ゲリラ^{ごうう}豪雨）が、気温が高くなる夏に、関東地方の^{いた}至る所で発生しています。

① 「からっ風」や「^{あかぎ}赤城おろし」, 「^{なんたい}男体おろし」,
^{つくば}「筑波おろし」など, 地域によって, さまざまな
^{めいしょう}名称でよばれています。

↓④ ^{いさん}世界遺産に^{とうろく}登録されている^{おがさわらしょとう}小笠原諸島の
^{ちちじま}父島 (東京都, ^{おがさわらむら}小笠原村, ^{さつえい}6月撮影)



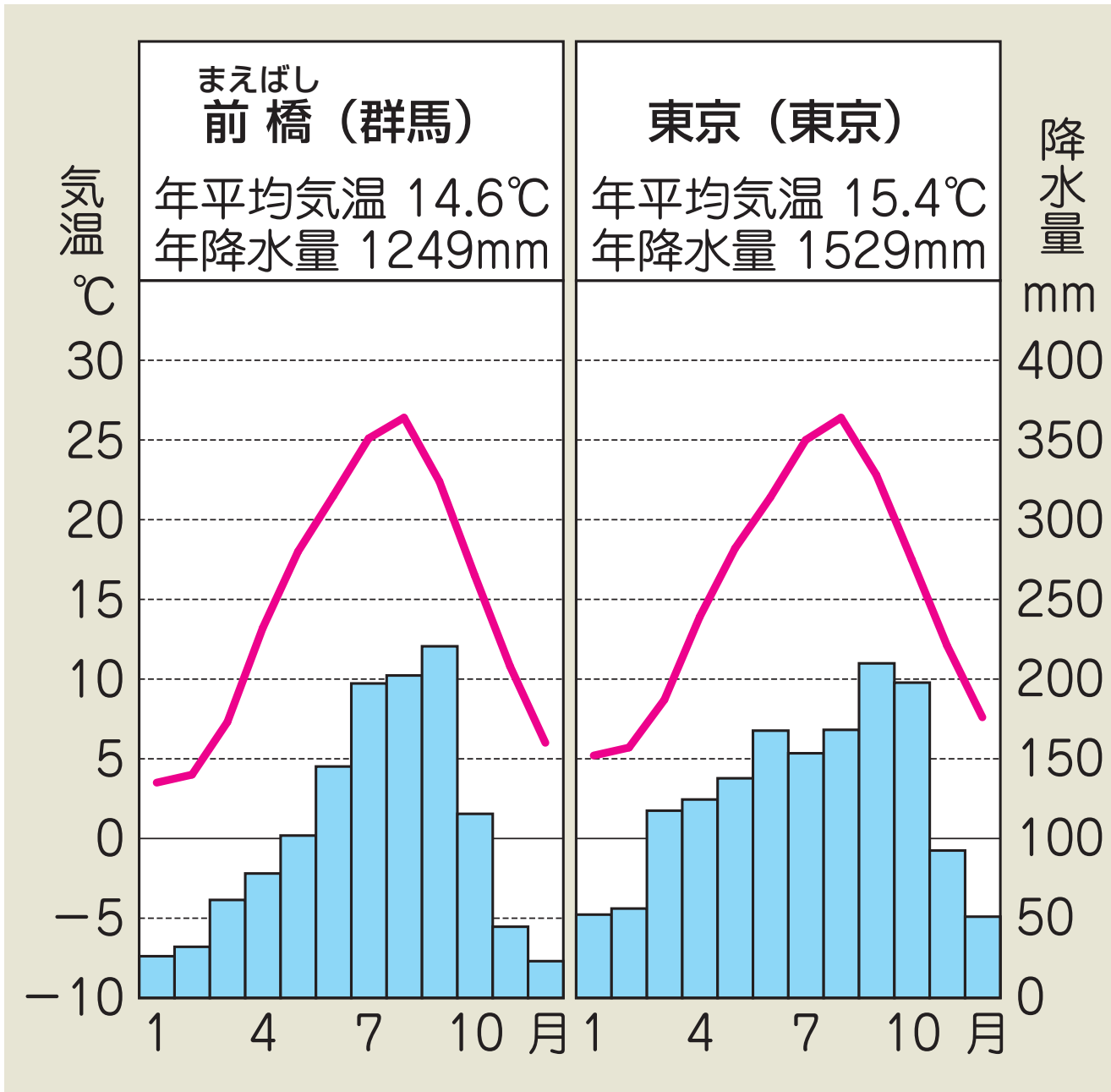
238-10

239-3

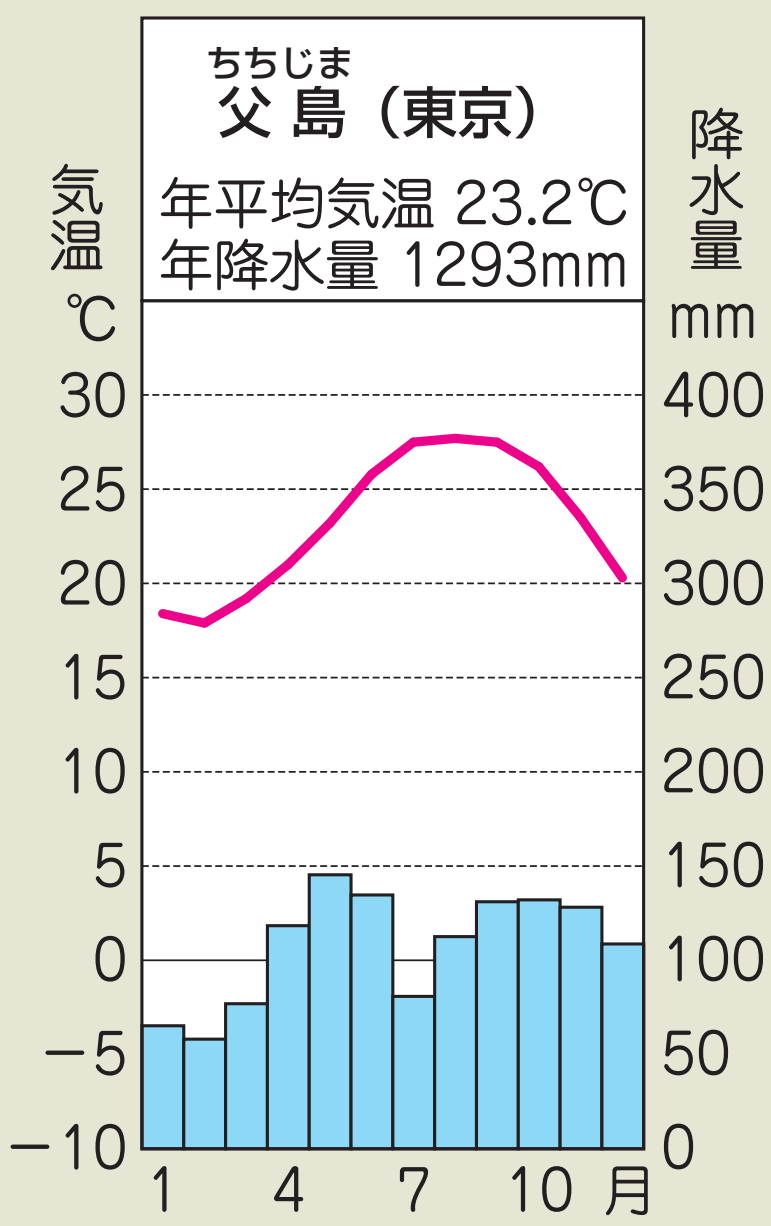
↓⑥ ^つ花摘みを楽しむ観光客が見られる ^{ぼうそう}房総半島の
^{みなみぼうそう}花畑（千葉県，南房総市，^{さつえい}2019年2月撮影）



↓ 8 関東地方の主な都市の雨温図 〈理科年表 2020, ほか〉



239-6



資料活用 まえはし 前橋, 東京, ちちじま 父島の位置を, 図①で かくにん 確認しよう。

239-7

すいがい そな
都市型の水害に備える取り組み



近年、^{しゅうちゅうごう}集中豪雨や局地的大雨によって、都市型の水害が起こりやすくなっています。都市部では、自然を改変して^{じゅうたく}住宅地や^{せいび}道路を整備したので、地面の多くがアスファルトやコンクリートで^{おお}覆われています。そのため、雨水が地下にしみこみにくく、雨量が下水道や遊水地などの^{はいすいしょりのうりよく}排水処理能力の^{げんかい}限界を短時間のうちに^こ超えると、^{はんらん}氾濫や^{しんすい}浸水が生じやすくなります。

こうした都市型の水害を^{ふせ}防ぐ取り組みの一つに、地下に^{せっち}設置される調節池や放水路などがあります。例えば、埼玉県東部の^{かすかべ}春日部市内の地下には、^{そうえんちょう}総延長約6.3kmにわたる^{しゅとけんがいかく}首都圏外郭^{けんせつ}放水路が建設されました。この放水路は、大雨などであふれそうになった^{なかがわ}中川などの水を一時的に^{ちよすい}貯水し、^{えどがわ}江戸川に排水することで、中川・



関東地方における内陸と海沿いの気候の
ちが 違いを， ㊦ **8** で かくにん 確認しよう。



関東地方の地形の 特 徴 について，「台
地」と「低地」の ごとく 語句を使って説明しよう。